

綱 領

1. われわれは、社会正義に立脚した貞誠ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新勞

平成20年
5月25日
発行
第201号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ <http://www.shinro.org/>
発行責任者 渡辺智重



は定期昇給に反映せざる程度とするよう引き続き申請しており、交渉議事録を取り交わしている。制度改正スタートを受けて、今後の各施設の対応には組合としても注視していくしかねれどもならない。

〔単組新任役員研修会〕
六月二十一日～二十二日
〔幹部研修会〕
部講師・松岡一郎氏。
または八日、講師及び内
容は本部一任。
〔初心者研修会〕
○ホームページの活用¹⁾
ク単位で開催。助成金等
についても例年どおり。

本社へ署名簿を提出

5月12日(月)、全国加盟単組より寄せられた組合員及びその家族10,859名の署名簿を本社に提出し、平成20年度給与改正等、日赤新労の要求事項の実現を強く申し入れました。署名簿は日赤新労の組織力を示す重要なものであり、本部活動の大きな後押しともなります。組合員の皆様には署名簿活動にご協力を頂き、ありがとうございました。



大口和哉(飯山日赤)、
永岡弘道(名一日赤)、
古川和親(名一日赤)、
成瀬徳彦(名一日赤)、
水野昌太(名二日赤)、
坂野智恵子(名二日赤)、
粕谷幸司(愛知血七)、
教

赤司裕美(嘉麻日赤) 謹

五月十一日
例経済報告で「足踏み状態」との表現がなされ、アメリカのサブプライム住宅ローン問題が尾を引いて景気後退が懸念されている。さらには連日ニュース等で報道されているところである。
このようないふるいは、昨年末に連合の動きを容認するとした経団連は連日ニュース等で報道されており、全国加盟団組より中央委員及びオブザーバーも、平成二十年度第一回中央委員会が開催され初日には部会及び専門部会が開催され、翌日である平成二十年度ベアや夏期手当等について憤りの意見が述べられた。執行委員長が挨拶に立ち、審議に先立ち、山田中央執行委員長が挨拶に立ち、次のように述べた。
『日本経済は、政府の月

平成20年度 第一回中央委員会開催 夏期手当統一要求額を決定

第一回中央委員会開催

報告事項

○昨年度実施した内容を
直して、追加項目として
「待機制」・組合員の
への寄稿協力

医師確保問題、保育施設の確保、オンコール料、
陥手当、扶養手当、クレジットの導入、DPCについて意見交換。

■審議事項■
一、本年度ペアについて
各ブロック会議での審議活動の報告が行われた。

【平成二十年度中央委員会】 ◎印は代表中央委員、闘争委員
第一ブロック (四名) 高橋 敦(◎印) 出岡佳江(清水日赤) 河崎勝己(◎印)
長根潤一(八戸日赤) 調査委員会
【第四ブロック】 河崎勝己(◎印)

五月十一日、十二日の両日、「千葉市 ホテルグリーンタワー千葉」において、全国加盟店組より中央委員及びオブザーバー等八六名の参加のもと、平成二十年度第一回中央委員会が開催された。

初日には部会及び専門部会が開催され、翌日の中央委員会では、議題である平成二十年度ベアや夏期手当等について慎重な審議が行われた。

第一回中央委員会は、開会式終了後、「足踏み状態」のニュースも聞かれたが、会のことばの後、資格審査との表現がなされ、アメリカの結果、経営側の皆は高く、・成立確認（出席中央委員）のサブプライム住宅ローン問題が尾を引いて景気後退が懸念されている。さらに労働側の思うようには行かないといつた状況である。

二五名、委任状三名）が行われ、議長に菊愛子氏（嘉麻日赤）、副議長に長根潤一氏（八戸日赤）、書記に伊藤哲朗氏（名一日赤）が選出された。

中、燃料価格の乱れや後期高齢者医療制度等について交渉を振り返ると、本社は常国公の動向を気にするあまり、社内の取り決めすらお手本がなければことが

は連日ニュース等で報道さ

今中央委員会では、
以外に夏のボーナスに
ても議題があがつていて
で、皆様には慎重かつ注
にご審議願いたい。』
その後、報告事項（部
・専門部会・一般経過）
入り、審議事項では平成
十年度ベアや夏期手当等
について審議が行われた。
なお、十一日に開催した
た懇親会に地元の千葉県
十字血液センターより高
事務副部長にご臨席いた
き、ご挨拶を頂戴した。

度の改善、緊急車両運転の二名乗車及び運転講習大型バス運転手の処遇等について意見交換。

強く交渉してほしいとの要望が出された。

二、夏期手当について
ブロック会議での審議結果が報告され、賛成多数で次のとおり決定された。

【統一要求額】

二三割十一律三万円

【統一要求日】本部一任
本部は五月二十一日(水)を統一要求日に指定した。

三、その他

○東北ブロックの製剤業務の集約について(青森県)
七) ～一段階に分けて統

○勤務評定制度導入における施設対応(盛岡日赤)

○冊子「組合のはなし」の継続活用(名一日赤)

○各会議の開催地等について(名二日赤)～組織強化につながるような開催地を選択してほしい。

○勤務評定制度導入に関する他組合からの文書送付について(鳥取日赤)

○個人組合員について(鳥取日赤)～新労未加入施設に異動となつた場合の対応として。

【血液センター部

結果が報告され、今後の交渉については賛成多数で定

○専門部会のあり方について
合することへの疑問。

千葉県支部職組と 懇談会開催

義肢製作所にて小林製作係長より説明を受ける



准看護師が看護師免許を取得した場合の取扱いについて

日本赤十字社に勤務する准看護師が看護師学校養成所の通信制課程を修業し、看護師免許を取得した場合の昇格基準の取扱いが以下のとおりとなります。

1. 日本赤十字社に勤務する准看護師が看護師学校養成所の通信制課程（以下「移行教育」という。）を修業し、看護師免許を取得した場合には、当該准看護師が准看護師として2級に在職した期間の5割に相当する期間（1年未満の端数月数は切捨て。以下「換算経験年数」という。）を看護師免許取得日以後の在職年数に通算し、昇格基準に達したときに3級に昇格させるよう措置する。

ただし、換算経験年数が6年以上であり、かつ、昇格基準表における「基準級号俸」を満たしている場合には、看護師免許取得日の属する年の翌年の4月1日に3級に昇格させることとする。

2. この措置は、平成20年4月1日から実施する。

ただし、日本赤十字社に勤務する准看護師であって、移行教育を修業し、平成20年4月1日（以下「実施日」という。）前に看護師免許を取得した者のうち、当該免許取得日に本件取扱いが適用されるものとした場合、実施日以前に3級に昇格することとなる者については、当該昇格があったものとした場合の実施日における級号俸に実施日をもって決定するものとする。

全社的福利厚生事業の補助内容について

下記について全社的福利厚生事業に関する協定の一部が改正されました。（平成20年4月1日実施）

○人間ドック受診補助事業

人間ドック受診補助事業における補助対象を、「人間ドック」から「人間ドック等」に改め、従来の人間ドックのほか、政府管掌健康保険の生活習慣病予防健診を含める。

○自己啓発補助事業

補助対象となる講座は、これまでの教育訓練給付制度の指定講座で施設長が業務遂行上必要と認めた講座に加え、施設長が業務遂行上必要と認めた講座で予め本社が承認した講座も対象とする。補助内容は、講座を受講したときに、受講費用の2分の1の額を補助する（補助上限額50,000円）。また、利用回数は職員1人につき、年1回1講座とする。ただし、履修期間が1年以上の講座は、1修学期間ににつき1回の補助とする。

（詳しくは本部からの通知文をご覧ください。）



单組新任役員研修会
6月21日(土)~22日(日)
浜松市「ホテル米久」
演題：組合活動と労働法(仮)
講師：明治大学法学部講師
松岡二郎氏



五月一日（日）、第一回中央委員会を開催するにあたり、日本赤十字社千葉県支部義肢製作所を訪問見学し、その後千葉県支部及び千葉県赤十字血液センター職員組合の皆さんと懇談会を行いました。

自身、出張で行った地

の赤十字病院にはできるだ

け足を運ぶことにしていま

すが、同じ赤十字病院であ

つても施設によって様々で

す。入り口の警備が厳しく

て入りにくい所、夜間休日

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞ききました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞きました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞きました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞きました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞きました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞きました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞きました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

して、現在は所長と四名の

義肢装具士の方々で運営さ

れています。年間五百件、

主に足の装具を中心に行

われ、一つの義足には

玄関ホールに張り出してい

る所、患者様からの苦情を

見学には、休日にもかかわ

らずわざわざ小林製作係長

にお出でいただき、一時間

余り、施設ができた経緯や

日々の仕事、装具の依頼や

修理での苦労話、義足をつ

けている人の苦労などをお

聞きました。この義肢製

作所は昭和二十七年に発足

</div